

## 令和 7 年度 富谷市立東向陽台小学校 学校関係者評価書

令和 8 年 1 月 2 3 日

学校関係者評価委員会

### 1 総評

#### (1) 本校の今年度の重点目標とその取組状況について

- ・ 誰にとっても安全・安心な学校づくりを目指している。いじめを許さない風土をベースに規範意識を持ち、困ったら支え合える学級づくりに取り組んでいる。
- ・ 夢中になって取り組める授業を探究し、「明日も行きたい」と感じる学校を保護者・地域と連携し確立しようとしている。教職員も同じく支え合う意識が大切で協働し合う意思統一を図っている。
- ・ 「一人一授業」での研修などで、先生たちは学び続け、常に改善に努めている。その様子を校長室メール「笑顔」で紹介することで、保護者や地域の方々と共有でき、最近の授業の在り方を知ることができ、学校を身近に感じることができている。
- ・ 授業参観で机の位置をグループにしたり、コの字にしたりと工夫し学び合う取組を実践していることが分かる。
- ・ 保護者アンケート、内部評価を踏まえ目標に向けて前向きに取り組んでおり、学校運営や教育活動が落ち着いて行われている。
- ・ 「誰にとっても安全・安心な学校づくり」を構成する各項目に確かに取り組まれている。そのベースの一つである「職員室の雰囲気よさ」が内部で共有されていることは特筆すべきことと受け止める。

#### (2) 成果について

- ・ 先生方の学校や子供たちへの思いが常に感じられる。
- ・ 教職員は資質の向上を求め、自らが楽しめる職場を目指して実践していることは、子供たちにとっても良い影響を及ぼしている。
- ・ 学び合いは定着している。継続の賜物だ。気軽に聞き合える学び合える学級・学校づくりをしていると思う。(教職員同士も同様である。)
- ・ 児童主体の「たけのこ祭り」や「ドッジボール大会」「ダンス発表会」などの行事では、子供たちの自主性が養われていると思う。
- ・ 先生方の連携が取れていて職員室の雰囲気がよいことや、若い先生の成長を促しつつ、協力し合って学校全体のレベルアップが図れているように思う。
- ・ 施設は老朽化しているが、業者によるトイレ清掃が行われるなど改善が見られる。
- ・ 一人一授業の取組によって、教育目標の中にある「ともに学び合う」機会となり、先生方の資質能力の向上と共に相互理解・共通理解を深める機会となり、児童への指導の充実につながっている。
- ・ 様々な場面で文字にしたり、言葉にしたりして「笑顔」という目標の実現に向けている。

- ・ 「たけのこ祭り」や児童会・委員会活動を通じて児童の主体性、自立性を重んじた活動、「みんなの発表会」や「運動会」での心をつなげて協力して作り上げる活動、どちらも大切なことであり学校の大きな役割を果たしている。
- ・ 児童主体の様々な活動が活発に行われていることは大きな成果である。

### (3) 課題や改善を要する事項について

- ・ ここ数年、努力により様々な件で簡略化してよいと思う。今後もよく見極めの精査をしてほしい。
- ・ デジタルメディアの使い方、いじめ問題もアンケートを活用しつつ、対話を重視し、初動の大切さを意識してほしい。
- ・ 夢中になれることに一人一つ以上を目標に取り組んでほしい。
- ・ 既に実践している「行きたくなる学校づくり」を継続してほしい。
- ・ タブレットやスマホなどのデジタルメディアとの関わり方について、金銭的な被害や真偽が定かでない物事などを含めて子供たちに伝えていく必要がある。
- ・ 外部委託による水泳授業の取組は、夏季以外の利用も可能なので、年間スケジュールの考え方の見直しも必要である。
- ・ もくもく清掃、あいさつ運動、読書活動は先生方が代わっても、年度が替わっても継続して行ってほしい。それが学校の特色となり、自分たちも学校づくりの一員であるという意識が児童間でも引き継がれていくと思う。
- ・ 熊出没、猛暑は一過性のものではなく、今後、毎年のことになっていくと思うので、安全面を考慮した対策を学校、家庭、地域で協力していく必要がある。
- ・ スマホやタブレットとの関わり方は学校だけでなく、家庭での児童との共通理解が重要と考えるので、使用方法と同様に利便性や危険性の認識を家庭と連絡を密に取りながら指導してほしい。
- ・ 保護者アンケートにおいて、プラス評価への着目もさることながら、「わからない」の減少に受けての対応強化が重要と考える。

## 2 各領域等の評価

領域	評価の観点	評価	意見・改善案等
学校運営	1 開かれた学校づくり	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>古い校舎、設備を丁寧に使用している。トイレの業者による清掃は、年1回はしてほしい。</li> <li>職員室の雰囲気がよく聞いている。素晴らしいことである。資質の向上につながり、子供たちにとっても良い手本となると思う。</li> <li>学校からのお便りがメール配信に変わったことはよい。</li> <li>「あいさつ運動」は継続してもらいたい。</li> <li>「たけのこ祭り」で児童の積極性が発揮されている。</li> <li>施設・設備が古くなっている中、不備が出た場合に早急に対応して、安全・安心に過ごせる環境にしているように思う。</li> <li>設備の老朽化は避けられないが、それによる便益の低下が最小限化する対策が望まれる。</li> </ul>
	2 魅力ある学校	A	
	3 施設・設備	B	
	4 安全管理	A	
	5 教職員の資質の向上	A	
	6 特色ある教育活動等	B	
教育課程	1 確かな学力	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>学び合いが定着している。中学生になって花開くことを願っている。</li> <li>委員会活動が生き生きしている。普段の授業では得られぬ、大切なことが身に付く。</li> <li>読書や図書室の活用で授業以外の学びの場があるのがよい。</li> <li>学習形態がいろいろあってよい。</li> <li>あいさつについて他校の児童と比べてよくできている。</li> <li>児童主体の活発な活動はとともよい。</li> </ul>
	2 豊かな心身	A	
	3 特別活動	A	
	4 生徒指導・教育相談	A	
	5 特色ある教育活動等	B	
課題教育	1 環境教育	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>危機期管理マニュアル、学習、生活ルールブックは見えるところに置き、宝の持ち腐れにならないように活用する。</li> <li>情報モラルは低中高学年ごとに適切に、家庭と連携して育成する。</li> <li>給食を通して、食事が身体をつくっていることを学んでほしい。</li> <li>新しい図書館の活用を図る。</li> <li>タブレット、スマホの危険な面を知り、加害者にも被害者にもならないようにする。</li> <li>読書習慣の定着を図る取組はとともよい。</li> </ul>
	2 情報教育	A	
	3 特別支援教育	A	
	4 図書館教育	A	
	5 健康教育	A	
	6 特色ある教育活動等	A	
地域との連携について		B	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な取組が行われているが、活動の魅力を具体的に伝え周知することになどもう少し取り組んだ方がよい。</li> <li>ボランティアの受け入れ、保育所、幼稚園、中学校との交流を図ってほしい。</li> <li>今後ますます連携の必要性が大きくなっていくと思う。交流の機会や場が広がっていくとよい。</li> <li>ボランティアの活用拡大、子供たちの地域ボランティア活動の参加なども期待したい。</li> </ul>
いじめ問題への取り組み		B	<ul style="list-style-type: none"> <li>充実した道徳教育の実施。早期察知、対応、対話、アンケートの活用、初動の重要性を念頭にして「報連相」の徹底を図る。</li> <li>保護者とのコミュニケーションが大事だと思う。</li> <li>保護者アンケートにおいて、このことに関して「わからない」が比較的多いことは改善を要する。</li> </ul>